

タイトル: 厚生労働省「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」の情報提供

日本作業療法士協会から情報提供がございました。

厚生労働省「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」の報告資料です。

検討会構成員の一人として日本作業療法士協会から荻原副会長が参画しております。

下記 URL で検討会の報告資料の内容が確認できます。

・「入院医療中心から地域生活中心」という政策理念に基づく施策をより強力に推進するための新たな政策理念の明確化

・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの方向性

等、これからの精神科作業療法にも影響を与えられとされる案件が示されておりますので、ご確認をお願い致します。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000152029.html>

上記資料において精神科リハビリテーションに直接言及されている部分は以下になります。

なお、あくまでも方向性を示すものであることをご留意下さい。

○これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会 報告書 PDF より

p.12 「重度かつ慢性」の入院患者の基準 案とその活用、

「重度かつ慢性」の状態を予防するための精神科リハビリテーション等の充実が記載

○参考資料 PDF より

p.27～28 「重度かつ慢性」基準案の詳細が記載 評価方法にも言及(※)

※BPRS(簡易精神症状評価尺度)Overall 版、問題行動評価表、生活障害評価の各書式は

下記の厚労省のデータ○資料2 p.27～p.33 をご参照下さい)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000122523.html>
